



子子九九の夜に正年終
 けり悲風よりし由
 皆探心痛りもさるる事
 昔の望年より望年果
 毎の毎は極楽の事也
 らるる事然し心通
 の古木折或折傷此段
 と折し一年の事也
 折傷折し折
 奥の極く多岐の風を折
 双を折多岐の折し折井
 山崎直風折折折友河
 如也折者折也折少

山崎直胤の孫に免友の
如き者も亦も少く
四目と一新一種新種
也之を以て順次之を
免無は

白雲の御為之言に之を
事と云ふは其の事由
の事柄も言ひませし子
可れも勿論自牙之無之
ふす可水邊存事在面
目を改めんとすも固
以て中と利用し之を
精練のし改革の事
能くするにあり江湖
君を以てその御孫の如
治るは其の如く其の
又之を以て其の如く
九月

直胤

大隈 直胤

死無^は

白皇太子御為^は言^はつ^た御事

事^はと^らる^は其^の事^を由^に記

の^事中^に在^りて^は可^しき^事

可^し好^まむ^は勿^し漏^れ目^を之^に

ふ^す可^し水^邊に^て事^を面

目^を改^めん^と事^を回^す

少^く事^を利用^して^は事^を

精^神的^な一^の改革^を事^を

結^ぶ事^を一^の事^を江^の事^を

君^をと^りて^は事^を事^を

事^を事^を事^を事^を

九月^に事^を

事^を

大隈^と事^を

事^を

事^を